美術科＜第１学年＞年間指導計画・評価計画

担当（　松永覚子　）

美術科　第１学年の目標
（１）楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。
（２）対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を伸ばす。
（３）自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に関する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

知は知識　技は技能　思・判は思考・判断　態鑑は鑑賞活動における主体的に学習に取り組む態度　鑑は作者の意図や創造的な工夫などを感じ取り、見方や感じ方を深めている。

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価方法	小学校との関連
4	・オリエンテーション ・自己PR ＜1時間＞	・美術科学習について意欲を高める ・自分らしさを美術という観点から考え、表現する。	①心構え　授業の内容説明 ②図工との共通点・相違点の確認 ③年間授業内容・評価方法などの説明 ④自分の好きなものや好きなイメージなどをイラストや言葉で書き出す。	思・判	自分を見つめ、言葉やイラストで自己表現をしている。	アイデアスケッチ内容 発言内容 授業態度	
	色について知ろう：色彩論 ＜2時間＞	色の知識や性質、組み合わせの関係などを学ぶ。	＊アクリル絵の具の使い方を説明。 ①三原色で基本的１２色を作る。 ②感情を色で表現するため、配色を工夫し着彩させる。・色の三要素（三属性）・混色と重色 ③色の性質 対比・感じ方・色彩効果・四季・日本的な色	知 思	色彩の仕組みをしり、表現することに関心をもち、主体的に構想を練ろうとしている。	ノート記入内容 発言内容	気持ちを表す形や色（5・6年）
					目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かして構成や配色を考え、表現の構想を練っている。	アイディアスケッチ	
5				知 技	形や色彩などの表し方を身に付け、表したいイメージをもちながら意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現している。	制作途中の作品 制作の態度や様子 完成作品	
	ほら見て！私のシンボルマーク　＜４時間＞		・①形や色彩が人に与える印象やシンボルマークの特	関	伝えたい内容を多くの人々に分かりやすさや美しさなどを考えて表現することに関心をもち、主体的に構想を練ろうとしている。	ノート記入内容 発言内容 授業態度	楽しく美しく伝えよう（５・６年）

6 7			性を伝える。 ②各企業のシンボルマークに込められた、作者の心情と工夫を読み取らせ、自分の表したいイメージを伝えるための工夫や表現を考えさせる。 ③オリエンテーション時に書き出した、自分のイメージや好きな事柄からイメージを広げて、デザインしていく。 ④既習した、色彩論を確認しながらデザインや彩色できるようにする。 ⑤相互鑑賞を行い、自分の良さや他生徒の良さに気づかせ、見方や考え方を深められるようにする。	想	伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。 基本的字体の特徴をとらえることができる。	アイデイアスケッチ	
				創 鑑	材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現している。 自分の作品の特徴を伝えられ、かつ友人のよさを引き出すことができる。【学び合い（言語活動の充実）】	途中制作作品 完成作品 ワークシート 発言内容	
	鉛筆デッサン 「だませるかな」 ＜６時間＞	・鉛筆の種類や特性を学び、物をみる力を育てる。	①　鉛筆の種類、特性を伝える。 ②　ワークシートを使い、鉛筆の特性を活かしながら表現の幅を伝え指導する。 ③　鉛筆と練りゴムを使用し、光や影などの表現を指導。 ④　身近な文房具をモチーフにじっくりと対象を見つめ、描くことを指導する。 ⑤　相互鑑賞を行い、見方、感じ方を深める。	知 思	・鉛筆の特性を理解している。 ・光と影を意識し、立体表現がイメージできる。	ノート記入内容 発言内容 授業態度 アイデアスケッチ	楽しく美しく伝えよう （５・６年）
				技 鑑	・自分の表現したいことを表すことができる。 ・明暗のグラデーションを鉛筆で表現できている。 ・自分の作品の特徴を伝えられ、かつ友人の良さをみつけることができる。	途中作品制作 完成作品 ワークシート 発言内容	
	鑑賞 美術館に行ってみよう ＜１時間＞	美術館の役割、機能について知る。	①さまざまな美術館紹介 ②役割や機能 ③仕事内容の紹介 夏休み中の展覧会などについて知る。（夏休みの課題について）	態 鑑 鑑	美術の文化遺産や美術文化に関心をもち、主体的によさなどを感じ取ろうとしている。 身近な地域や日本及び諸外国美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化の特性やよさに気付いて	ワークシート記入内容 発言内容 授業態度	表し方を工夫して （５・６年） 感じたことを伝えたい （５・６年）

					いる。【学び合い（言語活動の充実）】		
	絵の中をよく見ると 探して感じて、語り合って ＜１時間＞	構図や色彩などに着目し、それらが絵の印象にどのような効果を与えているか考える。 描かれている人や情景、構図や色彩、作者の意図について考え、鑑賞する。	・本時の狙いや鑑賞の仕方を説明し、目標や評価を明確にする。 ・話をせずに静かな雰囲気の中で鑑賞させる。 ・グループで話し合いをさせ、各グループでワークシートを記入。 ・グループの話し合いでは、一人一人が発表するように指導する。 ・造形的な特徴（構図や色使いなど）にも着目しながら鑑賞でいるよう指導する。	知	形や色が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、作品全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	ワークシート記入内容	感じたことを伝えたい （５・６年）
				鑑 態鑑	・造形的な良さを感じ取り、作者の心情や表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。 ・作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなど、見方や感じ方を広げる鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート記入内容 発言内容 授業態度	
９ 10 11	風景画　自分の一番好きな風景 ＜6時間＞	身近な風景を見つめ、よく観察し、自然から感じる色や形や色彩の特徴や美しさを基にして、水彩絵の具の特徴を生かして表現する。	①作品例を掲示し、作品のよさを話し合わせ、意見を伝え合わせる。 ②既習した遠近法（透視図法）を使い、物の見え方の発見をさせる。 ③水彩画の技法の特徴を伝え、小作品で練習させる。 ④鑑賞で、自分の作品制作で工夫 したことを伝えるよう指導す る。	関	風景画の例を鑑賞し、自分の感じたことを発表し合い、友人の意見の意見を聞きあう。【言語活動の充実】	ノート記入内容 発言内容 授業態度	表し方を工夫して （５・６年） 感じたことを伝えたい （５・６年）
				想	身近な風景に形や色、光などの美しさ、よさ、面白さ場所の記憶をもとに自分のテーマを生み出し、それに見合った表現の構想をしている。	アイデイアスケッチ 遠近法「透視図法」のワークシート	
				創	テーマに合わせて遠近感や奥ゆきを工夫し、形や色の強調や省略をしたり、水彩絵の具の特性を考え、表現方法を工夫したりして制作手順を考え表現している。	遠近法「透視図法」のワークシート 水彩画の小作品 制作途中の作品 完成作品	
				鑑	参考作品の遠近感や奥行きを工夫させたり、形や色の強調を表現したよさを味わい、友人の作品を発見することができる。【学び合い（言語活動の充実）】	ノート記入内容 発言内容	
	本物よりホンモノらしく＜６時間＞	身の回りにあるものをじっくりと観察し、形や色彩、質感の特徴をとらえながら粘土と絵の具で表現することで、ものをみる力	①　準備してきた食材を観察し、気づいたことをワークシートの記述する。 ②　数人でグループになり、記述したことを発表し	知	野菜の特徴、色や形などを理解し、気付いたことをワークシートに記述している。	ワークシート記入内容 発言内容 制作途中の作品 完成作品	

		と発想を広げる力を伸ばす。	あう。 ③ 対象の食材を鉛筆でスケッチする。 ④ 食材の色見本を作る。 ⑤ アルミホイルで立体の芯を作り、粘土をつけながら形作る。 ⑥ 乾いてから着彩し、さらに乾いたら木工用ボンドを水で薄めたもので光沢を出し、仕上げていく。 ⑦ まとめカードを記入し、相互鑑賞を行う。	思 技 鑑	・対象の特徴が見える構図を考えたり、向きを変えたりしながら工夫してスケッチしている。 ・色彩学習を振り返りながら、混色できている。 ・粘土ベラなどの用具を効果的に使いながら形や質感を表現できている。 ・互いの良いところを見つけ、また自身が工夫した点などを発表、記述ができている。		
12	コラージュ モダンテクニックを学ぼう ＜６時間＞	筆を使わない表現を学ぶことによって、抽象表現を学ぶ。	⑧ テーマに沿った素材を用意する。 ⑨ モダンテクニックを使ってコラージュに必要な素材を作る。 ⑩ 白ボールに自由に張り付けていく。	関	抽象表現とは何かを理解し、自分の 心象風景にあった表現をすることができる。	ノート記入内容 発言内容 授業態度	表現に込めた思い （６年）
				想	制作手順を考え、計画性をもって制作する事ができる。 アイデアスケッチなどを通して自分の内面に触れる表現を探す。	制作途中の作品 完成作品	
				創	モダンテクニックを理解し、自分にあった絵の具の質感や表情を選び再構築できる。		
				鑑	友人の作品を鑑賞し、自分の感じたことを発表し合いレポートを書く。【言語活動の充実】	ノート記入内容 発言内容	
１ ２	仮面制作 ＜１２時間＞		① 世界各国にある仮面に興味を持ち、その役割を知る。 ② テーマを決めて、アイデアスケッチをする。 ③ 工作用紙で骨組みを作り、張り子という伝統的な技法で制作する。アクリル絵の具などを使用し、制作していく。 ④ 完成した作品を相互鑑賞し、作者の心情や表現	関	世界各国の仮面について、関心を持ち、その役割や意味を理解することができる。 意欲的に制作作業に取り組む	ノート記入内容 発言内容 授業態度	表現に込めた思い （６年）
				想	自分のイメージを広げ、個性を活かしたデザインをすることができている。	アイデアスケッチ 制作計画	

			の意図、工夫などを聞いたり、考えることで、見方や考え方を深める。	創	制作手順を考え、計画性をもって制作する事ができる。	途中制作作品 完成作品	
3				鑑	友人の作品を鑑賞し、自分の感じたことを発表し合いレポートを書く。【言語活動の充実】	ノート記入内容 発言内容	